

細川ガラシャの和と洋、忠と義

開催日時：令和2年1月22日（水）

午後2時40分開演（午後2時開場）

開催場所：大阪信愛学院講堂

カトリック大阪大司教区

パウロ酒井俊弘補佐司教

【講演概要】

大阪を代表するカトリックの人物と言えば、高山右近と細川ガラシャの二人を挙げる人が多い。現に、カトリック大阪大司教区の司教座聖堂である大阪聖マリア大聖堂の正面入り口脇と聖堂内には、二人の像と絵が飾られており、聖堂が立っている地は細川ガラシャが最期を迎えた越中屋敷跡でもある。

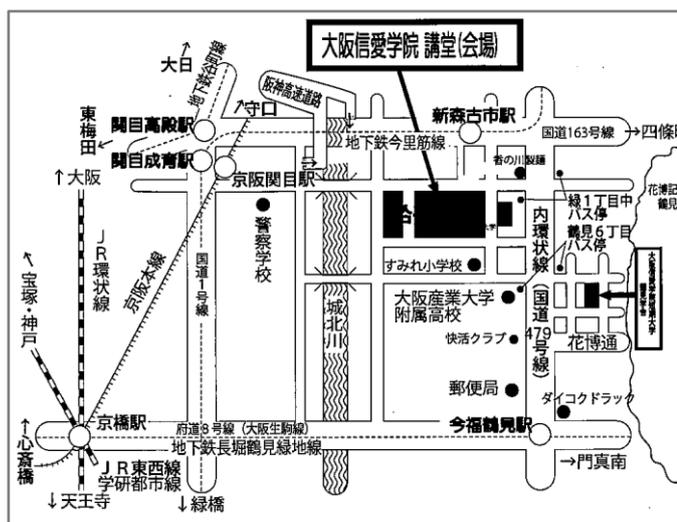
明智光秀の娘として、また細川忠興の妻として、「和」の典型とも言える武家の女性であった彼女が、なぜ「洋」のキリスト教に入信し、さらには鮮烈な死を迎えることになったのか。

歴史家としてではなく、宗教家として、この女性の生き方と死に方に込められた「忠」と「義」に触れてみたい。



プロフィール

1960年兵庫県芦屋市生
1988年オプス・デイ属人区司祭に叙階
2018年大阪大司教区補佐司教に叙階



【アクセス】

- ◎大阪メトロ（地下鉄）今里筋線「新森古市」
①番出口から南へ徒歩5分
- ◎京阪「関目」から東へ徒歩15分
- ◎大阪メトロ（地下鉄）長堀鶴見緑地線「今福鶴見」①番出口から北へ徒歩15分
- ◎近鉄「布施」から市バス86乗車
「緑1丁目中」下車、徒歩2分
- ◎阪急京都線「上新庄」から市バス86乗車
「緑1丁目中」下車、徒歩2分

【お問合せ】大阪信愛学院短期大学（大阪市城東区古市2-7-30 Tel 06-6939-4391）

- ・お申込みいただく必要はございません。
- ・お車でのご来場はご遠慮ください。